

兵庫医科大学 インテンシブコース セミナー

わたしの仕事・神経内科医

NHO 刀根山病院神経内科 山寺みさき

多くの職業人にとって、仕事で成果を上げて家庭生活も充実したものにするのは当然の目標である。しかしこれが女性の話になると、二兎を追う者は一兎をも得ず、といったメッセージを暗に受け取り続けることになる。発表者は神経内科医師という職業を選択し、神経病理という手段を得て、2児を出産後も市中病院の神経内科医・神経病理医として臨床、研究を続けている。市井の神経内科医としてはキャリア・ジャングルジムの道半ばといったところであるが、なんども転落しそうになるところを踏みとどまってきて、今に至る。現状に至るまでにきっかけを生んでくれた、Lennox-Gastaut 症候群の解剖例、細菌性髄膜炎の解剖例を紹介しつつ、キャリア形成について、またリサーチマインドの維持について議論したい。